

かみくげ 恐竜の里新聞

平成28年8月20日

発行…上久下恐竜の里づくり部会

第88号

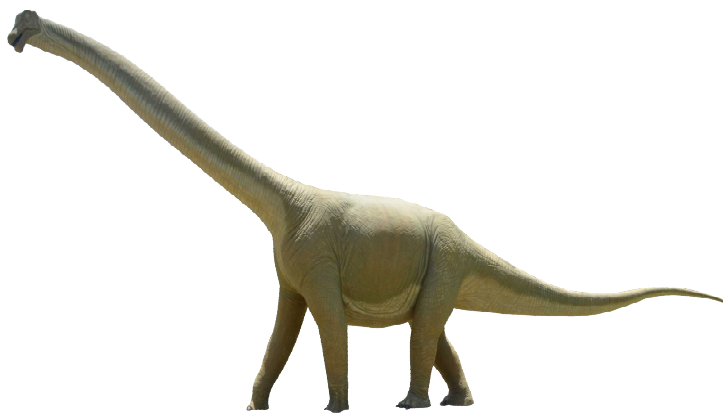
上久下地域自治協議会
0795 78 0001

丹波竜誕生10年目を迎えて

上久下地域自治協議会 会長 村上茂

「谷間に響く濁流が、洗う岩場の片隅に残すわずかの石の片」と当時の発見時の様子を詞に記したように、突如として私たち上久下の地に、1億年前に生きていた国内最大級の恐竜が現れてから、正に10年目の暑い夏を迎えています。いろんな場面での10年を振り返ってみると、「感謝」の気持が強く印象的に想い起されます。地域の皆さんへの感謝の点では、発見当初から一貫して、上久下の地を訪れる人達を心地良くお迎えするために、皆さんが協働して案内看板を設置したり、発見地に展望台や等身大の木製ミニメントを作ったり、恐竜親子の足跡をポイントしたり、身の丈に合った活動を通じて元気なまちづくり活動を企画し実施してきました。その度に自治会関係者や各種団体グループの皆さんほか、地域住民の方々の積極参加を得て、小さいながらも大きくさえ感じる成果を遂げてきたことに感謝の意を表するとともに、上久下の大きな住民ハワーを忘れることはできません。このような地域一丸となつての元気なまちづくりへの情熱が行政を

も動かし、他に類を見ないような手厚い支援を得てきたのも事実です。私たちはこの10年を一区切りとし、次の10年、20年に向かって、皆が「宝の山」と評して止まない自然豊かな上久下地域を、より住みやすい生活空間にしたいものです。



防災講演会開催のお知らせ

上久下地域自治協議会は、9月3日（土）の夜7時30分から地域づくりセンター多目的研修室で、地域自主防災講演会を開催する計画です。講師には市島町下鴨阪自治会の余田善彦自治会長と、くらしの安全課の森本防災係長を招いて、平成26年8月に発生した土砂災害時の経験を、被災者の立場と行政の立場から生の声で話していただきたいと思っています。市島町のような集中豪雨が上久下地域でも発生して、甚大な被害をもたらすことは充分考えられることです。ぜひ地域の多くの方々に講演を聴いていただき、防災減災意識を高めて欲しいと願っています。



平成たんば塾に多くの児童参加

丹波市教育委員会の補助事業として例年開催している平成たんば塾を、今年は4日間の日程で実施しました。

1回目
の7月25日は宿題見守りとして、上久下小児童13人が参加。見守り役は自治会長さんら3人が担当しました。一番に来た西田君は、地域づくりセンター裏でオスのクワガタを捕まえて「早く来て良かった」と喜んでいました。



2回目
の7月29日は発掘現場での化石調査を実施して、児童15人と

教師3人が参加。見守り役は保護者含めて5人にお世話になりました。丹波竜化石第一発見者の村上茂さんの解説を聴き、ハンマーを使って化石調査をしました。残念ながら化石の発見はできませんでしたが、その後完成したばかりの展望広場に集合して「恐竜検定」に挑戦しました。みんな真剣に話を聴いていた様なので、初級合格は間違いないと思います。8月28日の認定式が楽しみです。

3回目は8月1日にセンター調理室で、子ども料理教室を開催。児童15人が参加して、更生保護女性会や保護者の方達13人の指導のもと夏野菜カレーを作りました。子ども達は真剣な表情で野菜を小さく切つてから煮込んでカレーを作り上げ、わかめとキュウリの酢の物やデザートにみかん寒天も作って、みんなで楽しく頂きました。



最終日の8月2日は、センター多目的研修室で竹細工教室を開催。児童9人と指導員(パノニックエリレー)宮本さんや保護者らの手伝いのもと、ウグイス笛作りに取り組みました。竹ノコギリやグラインダーなど初めて使う道具に戸惑いながらも、自分用の笛を作つてきれいな音色を

楽しんでいました。指導してもらった宮本さんは「全員失敗せずに音がでるようになって良かった」と感想を話していました。

短い期間の平成たんなば塾でした。が、今回お世話になった指導員や保護者の方に大変感謝致します。



9月の予定

- ◆ 9月3日(土) 地域防災講演会
午後7時30分から
- ◆ 9月9日(金) 里づくり部会
午後7時30分から
- ◆ 9月11日(日) ふれあい映画会
午後7時30分から
- ◆ 9月20日(火) 県立柏原病院研修医との懇談会 午後7時30分から
- ◆ 9月21日(水) 自治会会長会
午後7時30分から
- ◆ 9月24日(土) 上久下地区体育大会
午前8時30分から
- ◆ 9月6日、13日、27日(毎火曜日)
恐竜時計台のカフェ
午前10時から売切れまで

丹波竜の足跡を再現

上久下恐竜の里づくり部会メンバーら9人が8月8日、発見現場展望台から恐竜広場までの農道に丹波竜の足跡をペンキで塗って、発見場所から公園の実物大モコモトまで歩いて行つた様子をリアルに再現しました。当日は朝から猛暑で全員汗だくになりながら、約500mの道程を完成させました。参加したメンバーは「暑かったけど、楽しく足跡を塗ることができた。来た人が興味を持ってくれることを期待します」とコメントしていました。



異世代交流グランドゴルフ大会開催



上久下老社会(中西一郎会長)は7月22日に小学校グランドで、小学生との異世代交流グランドゴルフ大会を開催。老社会メンバー43人と小学生22人が参加して、炎天下に快音を響かせました。各部門成績上位者(スニアは以下の通り)2ラウンド、パ148。老社会の部①嶽しず子40、②永井岩男40、③齋藤久江41、④柳川瀬孝雄41、⑤森田宇一郎42。小学生の部①柳川瀬温人50、②永井駿希55、③野垣太誠59、④西田烈人60、⑤村岡伊吹61となり、今年も小学生がシルバードパーに圧倒される結果となりました。